

心と心のふれあい

友好交流10年を記念して



都留・ヘンダーソンビル友好委員会
会長 ベッツィ・ウエドキン

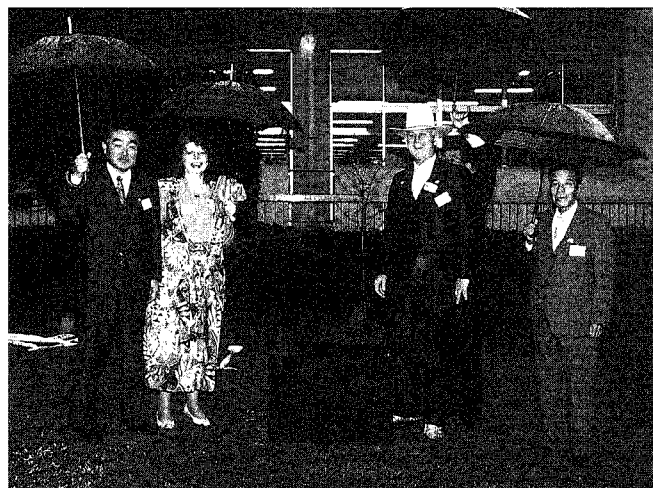
私の携わってきました両市の友好交流は、極めて価値のある経験でした。1979年7月、テネシー文化使節団の一員として、主人のジャックと一緒に初めて都留市を訪れたことは、今でもはっきりと覚えています。私たちの一行が都留市を訪れたのは、高尾利数先生のお力添えを通してでした。皆さんのご親切、ご厚意は忘れることはありません。私たちが滞在したのはたった一晩でしたが、その夜が現在の友好交流の始まりでした。1981年には第2回テネシー文化使節団の一員として再び都留市を訪れ、1983年には都留市の皆さんに英語を教えました。

姉妹都市提携のお話を伺ったときの喜びは言葉では表現しきれないほど嬉しかったです。ヘンダーソンビルで最初の姉妹都市友好委員会の一員であったことを光栄に思います。姉妹都市提携調印の場に立ち会うことができたのも私の人生において、とても貴重な体験でした。それ以後、友好関係の発展を目の当たりにし、そして参加してこれたことは名誉なことでした。1988年の都留市訪問は私にとって、まさに夢がかなったものになりました。

ヘンダーソンビル市を訪れた都留の皆さんをおもてなしできたことはわたしたちにとって、とても幸せなことでした。皆さんがヘンダーソンビルを訪れるたび、そこには新しい経験と、それにも増して新しい友情の絆が生まれました。この友好関係を始められた皆さんに感謝申し上げます。

アメリカではいくつかの町が日本の都市と姉妹都市提携を行っています。これらのほとんどは会社や行政でアレンジされているものです。私たちの友好関係は深く、成長している友情から生まれて来たものです。都留市とヘンダーソンビル市の関係は、これから日本の都市と姉妹都市関係を始めようとする、また、深めようとしているテネシー州内外の都市のモデルとなっています。

私は次の10年を楽しみにしています。今、私たちには将来を作り上げて行く土壌があります。しかし、私たちのかかわりあいや参加だけでは可能性に限りがあります。私たちは他市の、ひいては国の手本ともなり得るはずです。学生や文化の交流、経済、市民グループや市民の皆さんの参加はすべて私たちの友好関係を繁榮させ続けることでしょう。皆さんの友情に感謝申し上げます。



記念植樹